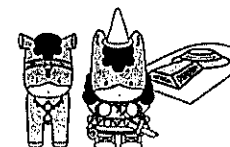


東国文化の中心・群馬の再認識

～岩宿・古墳から富岡製糸場までの歴史的文化遺産～



古代の東国文化の中心地であり東日本最大の古墳大国である本県が誇る歴史文化遺産について、調査研究を進め、県民によく知ってもらい、地域振興や観光・イメージアップ等に活用するとともに、全国への発信を推進します。

歴史文化遺産の再認識・環境整備

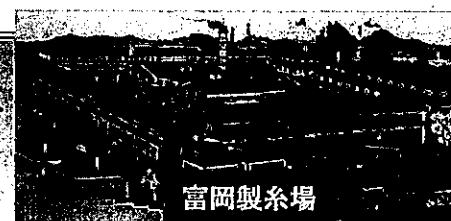
- 子どもたちをはじめ、多くの県民に本県の貴重な歴史文化遺産をよく知ってもらい、郷土への誇りと愛着を育みます。
- 上野国分寺跡などの全国レベルの価値を持つ史跡について、誰もが見に行きたくなるような環境整備を進め、貴重な文化財の保護と活用を図ります。
- 岩宿遺跡など旧石器時代から始まる本県の歴史を、豊富な歴史文化遺産によって物語として構成し、新たなぐんまブランドを創出します。



東日本最大の史跡太田天神山古墳
(右は女体山古墳)

歴史文化遺産による観光振興・イメージアップ

- 本県が誇る歴史文化遺産を、群馬の観光資源として磨き上げ、誘客を推進するとともに、リピーターの増加を図ります。
- 全国に向けた群馬の魅力的な歴史文化遺産のPRに力を注ぎ、イメージアップの推進を図ります。



富岡製糸場

推進体制の整備

- 東国文化の発掘・活用・発信のための推進体制を整備し、市町村や県民と連携して推進していきます。

東国文化とは

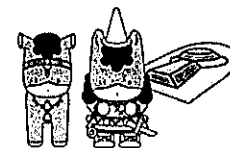
現在の関東地方とその周辺が「東国」と呼ばれ、ヤマト王権が関東から東北までの一帯を治めるための拠点として群馬が重視されてきた古墳時代から平安時代にかけての文化を指しています。「古代東国文化」と言った時には、岩宿遺跡に始まる旧石器時代から平安時代までが対象となります。



国宝・武装男子立像
東京国立博物館蔵

東国文化の中心・群馬の再認識

～岩宿・古墳から富岡製糸場までの歴史的文化遺産～



平成24年度は、市町村や歴史研究者と協力して、しっかりとした調査を行うとともに、県民に歴史文化遺産の価値を知ってもらう機会を提供していきます。

平成24年度新規事業

文化庁
文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業の活用

1 古墳総合調査

5,000千円

県内に一万基以上あると言われる古墳すべてについて、現状を詳細に調査し、今後の保存・活用の方向性について検討(事業期間 平成24年度～平成27年度)

2 古墳情報発信事業

5,630千円

「毛の国古墳サミット」や古墳出土物紹介冊子により、県内にある古墳の価値を広く周知

3 東国文化副読本・体験教材作成

2,000千円

- ・子どもたちに群馬のルーツを知ってもらうための副読本の作成
- ・歴史博物館の展示資料と実際の遺跡を見て、学べる教材の開発

4 群馬の歴史をつなぐ文化遺産の物語

5,000千円

県内の歴史文化遺産を会場に、東国文化の中心であった群馬の歴史をつなぐ物語を県内外に向けて発信するイベントを開催

群馬歴史文化遺産発掘・活用・発信実行委員会の設置

- ・市町村や歴史研究者、文化遺産保存団体等らと実行委員会を設置
- ・文化遺産の調査研究、事業の企画立案・実行



昭和10年
上毛古墳総覧



上毛野はにわの里公園



上野三碑
(すべて特別史跡)